

ゼミを見つめる

経済学部教授 岡田元浩

この『藤棚』の原稿を西田図書館長から依頼された時、「主として岡田さんのゼミの事を自由に書いて下さい。図書館との繋がりに殊更言及する必要はありません」という趣旨のご説明を受けた。素直(?)な私は、このご示唆に従って以下の文章を綴っていきたい。

2000年度以来、私は「経済演劇の創作発表」を自分のゼミのテーマに掲げてきた。「経済演劇」という耳慣れぬ言葉は私の造語で、その内容は、話題となった時々の、経済的ないしは広く社会的問題をドラマ化し、台本の作成から、演技、道具・音響等の舞台設定に至るまで、ゼミ生と教員の私手作り仕上げ、甲南大学経済学部の恒例行事で毎年12月に開催される学部内のゼミ研究発表会=インターゼミナル大会(経済学会主催)において、成果を披露するものである。さてゼミ授業(ここではあえて「講義」という重苦しい用語を避けたい)の難しさは、それを担当した経験のある教員の方ならば誰でも実感するところだろう。私見によれば、そのポイントは、単なる少人数教育にとどまらず、いかにしてゼミという集団の「有機性」を生み出さしめるか、という事にあるかと思う。つまりゼミ授業は、大教室講義の縮小版(それだけならば、代わりとなるものは他にもあろう)ではなく、そこに集う者達の間に関わりや共有目標が醸し出されるべき場であるということ。こうしたゼミの「理念」自体は私が甲南大学に赴任した当初から理解していたが、それをいかに実現させるかという点において、試行錯誤の繰り返しだった。最初の数年間は、私の専門分野のテキストを輪読し4年次に卒論を仕上げるといった、ゼミの古典的様式になった。ゼミ生達も概ね課題を真面目にこなしてくれたが、上記の「理念」にてらしてみると、その運営法に次第に限界を感じていった。またある一時期は、授業での学習内容よりも、ゼミ生同士、ないしはゼミ生と教員である私との間の、交友関係を深めることで、ゼミ組織の活性化を図ろうとしたこともあったが、私に人望が足りないせいか、それも成功したとは言えない。この他フラストレーションを伴う幾つかの試みを経て辿り着いたのが、今のやり方だった。私は元々文学部出身で、身の程知らずではあるが小説家を志望した過去もあったことから、演劇という手法を思い立ちやすかったのかも知れない。

さて、「経済演劇」の創作発表をテーマとすることにより、1度限りの本番で、1年近い時間を賭して準備を行った成果を出し尽くす、という、明確かつ具体的なゼミ活動の目標が学生達に浸透した。それにより、「研究知識を深める」といった、従来のその持つ曖昧さを払拭できた。また「演劇」

と聞くと、地道なアカデミズムとは対照的に、楽しそうだが上滑り、と受け取られがちだが、実は必ずしもそうではない。たしかに稽古途中で笑いが溢れることもあるが、平均20数名のゼミ生全員と教員の私が一丸となって、企画の段階から多数の観客の前で本番発表を行うまでのプロセスには、威勢や好奇心だけでは乗り越えられない数々のハードルが存在する。すべてのゼミ生に欠くべからざる仕事を与えられているから、たった1人でも無責任な行動をとる者が現れれば、活動全体に致命的打撃を与えかねない。最初は興味本位で私のゼミに入った学生達は、やがてその幻想を思い知らされるようになる。集団組織としてひとつの事を成し遂げることが、いかに困難で、それに属する個々人の自覚と、個人間の連帯を必要とするかを、そしてこれを達成した時の充実感の大きさを、何よりゼミ生達に理解してほしい。同時にそれが、彼ら・彼女らの社会における自分のあり方を見つめ直す契機となり、大学卒業後の行路の糧となればと、願っている。

最後になってしまったが、私のゼミと甲南大学図書館・サイバーライブラリーとの関係について一言述べておきたい。図書館利用において私のゼミが特別活発であるとは、残念ながら言えないようだ。だが、劇の台本作りのためのテーマ調査、4年次ゼミ生の卒論作成における資料収集等において、甲南大学図書館とサイバーライブラリーの関係者の方々には随分とお世話になってきた。特に、ゼミ生全員とともに両施設を訪ね、利用ガイダンスを受けることを毎年度の恒例としてきたが、そこでの職員の方々のいつも変わらぬ行き届いたサービスとホスピタリティーには、深い感謝の念を抱いている。一見すると図書館とは縁遠そうなのがゼミであるが、図書館のサポートなしにはあり得なかったことも、事実なのである。



本号の「自著を語る」のコーナーで、紹介された本の所蔵案内

『近代日本の象徴主義』

請求記号 910.26//2017

図書館（開架）所蔵

『司法通訳 - Q & A で学ぶ通訳現場』

請求記号 327.6//2091

図書館（開架）、サイバー所蔵

『郁達夫研究』

請求記号 920.28//Ko11

図書館（開架）所蔵